

日本生物地理学会会報バックナンバーの収集と学会サイトへの掲載

やまだかずゆき

kaz_y-miaw@nifty.com

<http://miaw.o.oo7.jp/>

日本生物地理学会は 1928 年、渡瀬 庄三郎、蜂須賀 正氏、岡田 彌一郎の 3 氏によって設立されました。第二次大戦中から戦後の数年間会報発行が滞りましたが、日本の生物学最前線の成果が掲載されてきた実態は、学会サイトに掲載したとおりです。

本会誌もそうなのですが、とりわけ重要なのは **Fauna Japonica** で、また学会に在庫のストックがありません。コンプリートしている図書館もないので、ハードコピーなり pdf なりを集めるのはちょっと大変なのかも、なんて思っていますが、それでもひとつとおりが都内に收藏されていることまではわかっています。そしてもうひとつ、印刷物の所在が明らかにできていない日本生物地理学会紀事 (1948 年刊行) は、学会会誌 36 巻 (1981 年刊行) の掲載記事から拾った目次をサイトに載せていますが、これまた面白そうなタイトルが列記されています。

さてさて。学会スタッフが管理できていない学会出版物のコピーとは、どこに著作権があるのでしょうか??? むむむ。

ま、とりあえず (汗)。これまで個人レベルの努力で、やまだが入会する前のバックナンバー情報を集め、部分的にはありますが公開してきました (三中さんの所蔵品にだいぶ肖りましたが)。でもやはり、限界があるようです。

今のところ Vol.16-19 岡田彌一郎博士還暦記念号 (1955 年刊行) の一部や、第 6 代会長有本石太郎のワレカラ類の記載などをサイト上に取り上げていますが、まだまだ、圧倒的多数の重要な論文をピックアップできていません。

データ入力にかかわる人件費と未入手タイトルのコピー費用やら交通費やらの援助をいただきたいところですが、学会の財政は厳しいので難しそうです (もちろん、それを言うなら会計、雑誌編集、庶務幹事にもねぎらいは欲しいところですが)。

将来的にはバックナンバーのウェブ公開なども視野に入れるべきですが、現状、評議員のコンセンサスも得られていませんし、実際のところ、**J-Stage** へのアップに対応できる人員も欠如していると思います。

てなことで、これは学会からの公式なスポンサー応募ではなく、あくまで一運営スタッフとして私的な援助願いです。やまだの個人サイト上に掲載すべきではないかもしれませんが、学会サイトには掲載しにくいので、どうぞお含み置きください ^^;